



矢作川流域圏懇談会のゆるキャラ
「はぎぼう」

第69回 山部会WG・FW

第14期の活動成果と今後の活動計画

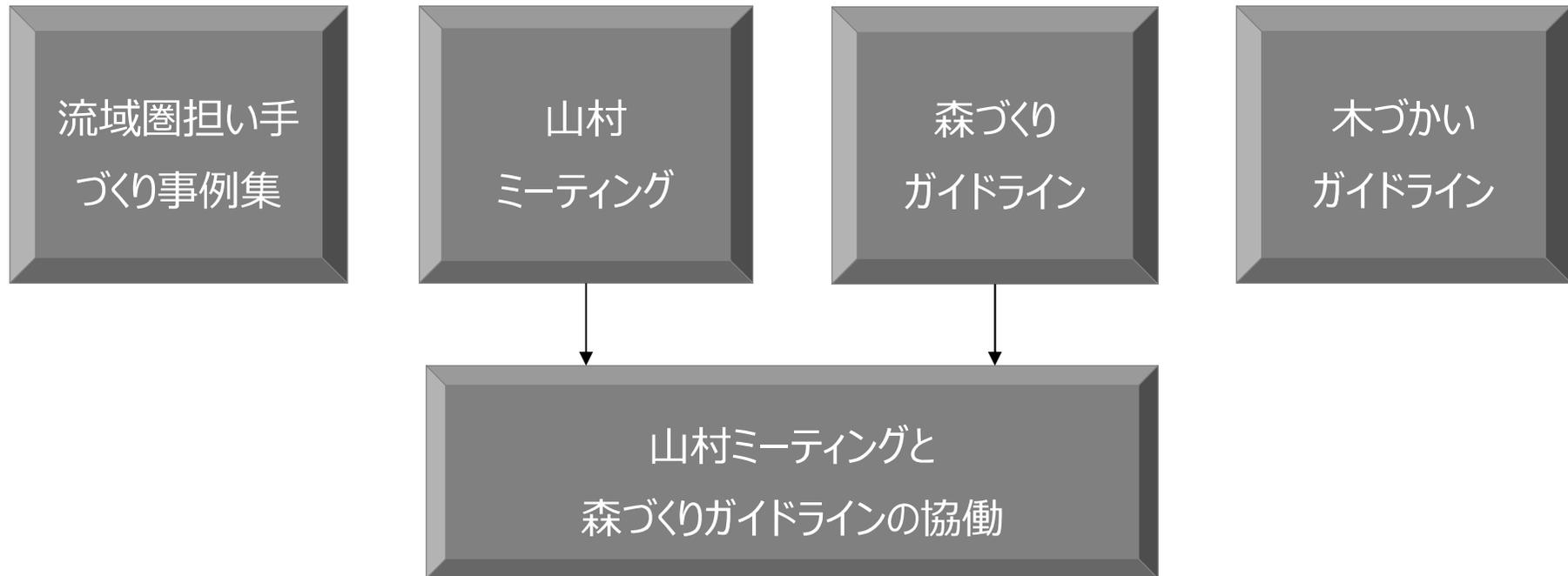


次 第

1. 今期の活動実績
2. 山部会の活動目標
3. 今後の活動内容
4. 山部会の活動スケジュール

1. 今期の活動実績（R5.4.1～R6.3.31）

次の10年を見据えながら、山部会の展開を模索するとともに、4つの活動テーマ（一部、山村ミーティングと森づくりガイドラインは協働）を軸として、情報共有と意見交換を行う。また、他部会との連携を通し、流域としての課題解決に貢献する。



※例年は年度末に実施する全体会議を区切りとして年度ごとの目標を設定していた。
昨年度より11月に全体会議を実施しているため12月1日～翌年11月30日の1年を1つの期として整理する。
今年は設立から15年目であり、昨年（14年目）は中間報告会としているため、第14期の継続中とする。

1. 今期の活動実績 (R5.4.1~R6.3.31)

流域圏担い手づくり事例集 (テーマ①)

○流域圏担い手づくり事例手交流会2023の実施

2021~22年度に2冊の「流域圏担い手づくり事例集」を発行し、流域圏の木材を利用して都市域の自治的なまちづくりを促進した活動を紹介。5/19に開催した交流会では2冊の事例集の取材対象者に活動をご発表頂き、33名の参加がありました。

●流域圏での人の繋がりが生まれている

鈴木健一さん (森と子ども未来会議)

・地域の森から学童保育所を木造化 街に森を作るPJ・

プレハブが多い学童保育施設の住み心地をよくするため、木造の板倉建築で着工。今年は10棟目の着工を開始。施設の木造化により、室内が快適になったと好評を頂いている。



名畑恵さん (錦二丁目エリアマネジメント株式会社)

・都市の木質化を中心とした錦二丁目のまちづくり・

まち全体が木で覆われているような「まちの美しさ：都市の木質化」を構想の大切な柱として、錦二丁目の街づくり事業を行う。現在は木質化を暮らしの歳時記のように続ける仕組みづくりを作成中。



東海林修さん (東海林建設設計事務所)

・学童保育施設の木造化の取り組み・

歴史的建造物に用いられている、板倉構法に関わる。木造の施設は子供にやさしいほか、木の生産者と町のつながりを感じることができるため、今後も関りを広げていく活動を行いたい。



大橋俊夫さん (再生空間合同会社)

・錦二丁目での取り組み -都市の木質化プロジェクト-

都市の木質化で、錦二丁目に設置されるベンチや棚や机などの制作、指導を行う。歩行環境を改善するため長者通りに作ったウッドテラスが角材やデッキやベンチに再利用され木材はリユースしやすい素材だと感じる。



小嶋哲志さん (あおぞら学童保育クラブ)

・「木の家プロジェクト」について・

学童施設が木造化されることにより、音、温度、湿度などの環境が整い、多くの子供と一緒に過ごせるようになった。また、近隣の方々が集まるようになり、保育所は地域コミュニティという役割も持つようになった。



山田政和さん (豊田森林組合)

・都市の木質化に関わって考え方が変わったこと・

2013あいちトリエンナーレで長者町のビクターセンターを豊田の木で内装したのがきっかけで、都市の木質化に関わる。最近ではグリーンクラフトを始め、異業種との関わりが増えたことで自身の技術や視野の幅が広がった。



1. 今期の活動実績（R5.4.1～R6.3.31）

山村ミーティング・森づくりガイドライン（テーマ②、テーマ③）

○講演会「森林ボランティアの安全管理は甘すぎないか？」の実施

森林ボランティアの活動においては、ここ2・3年、死亡事故や重大事故が激増している。そのため、水野雅夫氏（Woodsmen Workshop代表）を講師に招き、森林ボランティア作業における安全管理についての講演会を実施した。（第66回山部会WG 5/19）

○矢作川水源の森づくり合同研修会の実施

林業従事者の安全のため、7月14日に4森林組合（根羽村、恵南、岡崎、豊田）による合同研修会を実施。

豊田森林組合は、人材育成について中期経営計画にも入れ込み、職員に2年間専門教育を受けさせるといった方法を取り入れており、これらの取り組みについて講演頂いた。

また、伐倒練習機（MTW-01）を使った実践的な訓練方法を実演され、どのようにトレーナーが指導法をマスターしていくのか、その成果と課題の共有を行った。

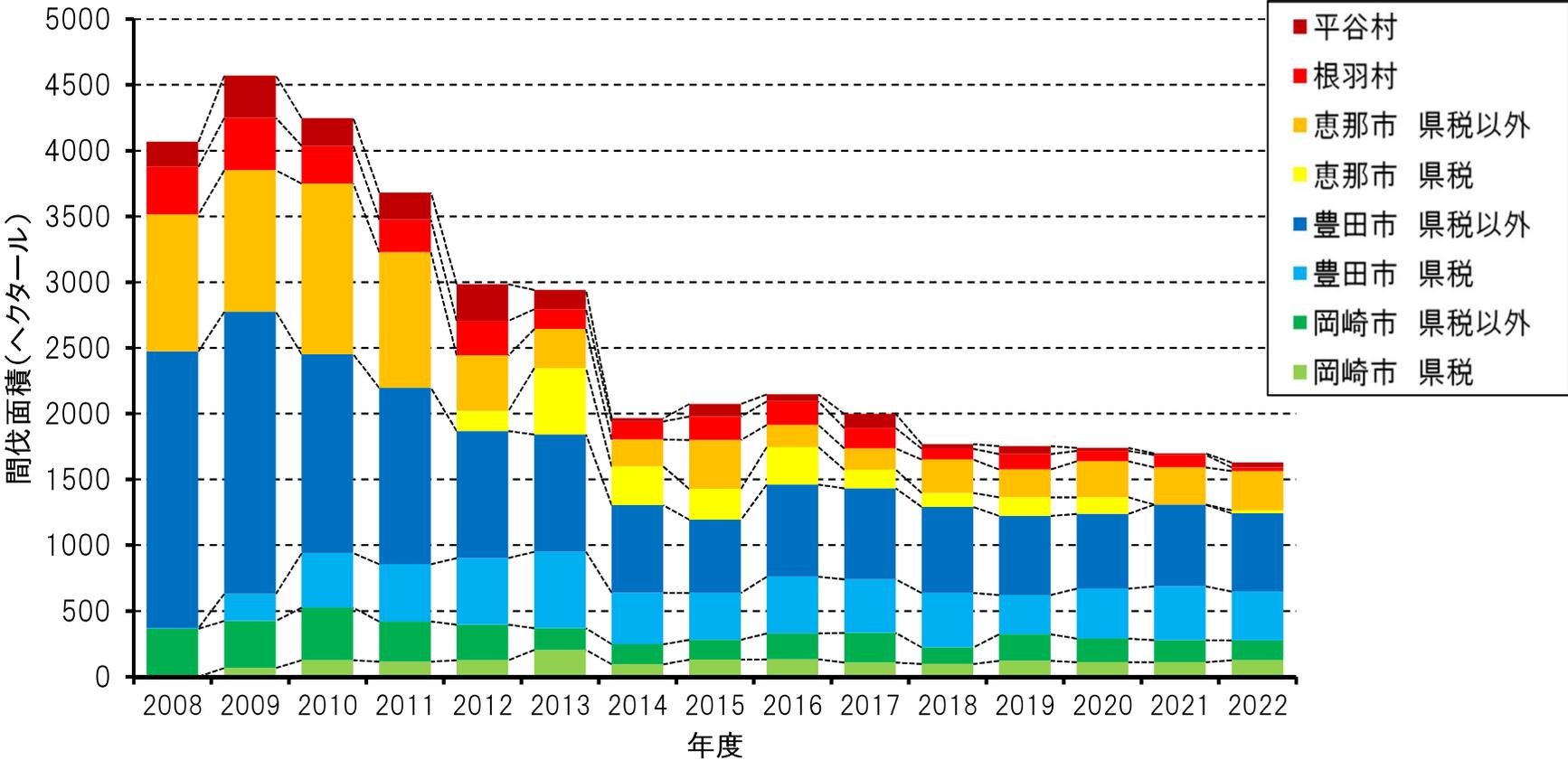
●森林組合間での連携が生まれている



1. 今期の活動実績 (R5.4.1~R6.3.31)

森づくりガイドライン (テーマ③)

○矢作川流域圏での人工林間伐の状況



2009年から2014年の間に大きく減少しており、それ以降は2000ha前後で横ばい傾向。
2022年は傾向、間伐面積ともに前年と比較して大きな変化はない。

1. 今期の活動実績 (R5.4.1~R6.3.31)

木づかいガイドライン (テーマ④)

○竹の土木資材への活用事例紹介

南信州の事例が報告された。南信州においても放置竹林の問題が生じている。山部会では筏の材料やメンマといった食材への利用については共有してきた。今回は、盛土に竹を用いることで強度を補完でき、より急こう配でも盛土が耐えられる事例が紹介された。

○獣害対策の活動紹介

獣害対策として各種単木防護柵を実施したが、全てシカによる食害を受けた。皆伐して再生林の段階に入ったが、獣害対策が大きなハードルになっている。対策として周囲防護柵の設置や植栽地パトロールの実施を検討している。

○木育推進事業

- ・南都留森林組合と連携し、端材を使った空き家「ネバスギを使ったシェアハウス」の改装に取り組んでいる。
- ・高知県梶原町の太郎川公園森林フェスティバル、山梨県甲府市の水源の森からマルシェ、山梨県のコッゴ祭りに出向き、木育活動を行った。
- ・「青い空とビーチサウナ」として、「NEBA SAUNA」の特徴を紹介した。
- ・安城市と根羽村の親子山村留学をきっかけとし、太田氏の「森へおいでよ 矢作川水源の森へ」を紹介。
- ・根羽スギを使った建築物として、長野IC近くにある「おやきファーム」を紹介した。

○根羽村・林業のミライ合宿活動紹介

根羽村での移住と林業の体験活動を実施。サポーターのほか、学生13名が参加。

「木材がどうやって作られ、どのように使われるのか」「林業と山村地域の関わりについて」などをFWを交えて学ぶことで、地域や林業の理解が深まったほか、地域と学生につながりが出来た。

●上流地域と他地域の住民に繋がりが生まれている

2.山部会の活動目標

《第14期後半の活動目標（R6.4～R6.11）》

次の10年を見据えながら、山部会の展開を模索するとともに、4つの活動テーマ（山村ミーティングと森づくりガイドラインは協働）を軸として、情報共有と意見交換を行う。また、他部会との連携を通し、流域としての課題解決に貢献する。

<テーマ>

流域圏担い手
づくり事例集

<活動目標>

- 持続可能な地域づくりにつながる活動を行っている団体に取材を行い、「流域圏担い手づくり事例集Ⅴ」を刊行する。⇒ミライ会議にてとりまとめ中
- 山、川、海のエリアと都市をつなぐ活動に着目した取材や、これまで流域圏に含まれながら取り上げてこなかった幸田町の団体への取材の可能性を検討する。
- 川部会、海部会を巻き込んだ流域全体の担い手を発掘する活動とする。
- 事例集の活用方法と、今後の事例集づくりの方向性について検討する。
- 事例集交流会を開催する。⇒7/6,7に鳥羽市にて開催

2.山部会の活動目標

《第14期後半の活動目標（R6.4～R6.11）》

<テーマ>

<活動目標>

山村ミーティング

- 山村ミーティングの実現のためには、林業技術者に直接意見を伺うなど、懇談会との連携を強化する（担い手の創出）。
- 矢作川感謝祭が林業関係者の交流の場として、どのような役割を果たすのか、開催を支援しながら再検討を行っていく。

森づくりガイドライン

- 森林経営管理法、森林環境譲与税、脱炭素社会の実現、ネイチャーポジティブ、人工林齢級分布平準化、スギ花粉症対策などの国の新たな動きを踏まえつつ、流域市町村の森林施策の着実な進行を後方支援し、流域圏全体として調和のとれた森づくりを目指す。
- 水環境基本法および水循環基本計画に定められた森林の雨水浸透能力または水源涵養能力の整備について、矢作川流域における関係省庁や地方自治体の施策をフォローアップする。
- 流域市村の間伐面積・皆伐面積の経年変化を整理し、要因等の情報共有を行っていく。

山村ミーティング
と森づくりガイド
ラインの協働

- 流域での森林ボランティアを始め多様な森づくりに関わる人々の活動を総括し、流域懇談会山部会の働きかけで実現した矢作川流域現場森林技能者合同交流研修会の内容を取りまとめた冊子「森の人をつなぐ」（第14期活動成果）を流域森林組合や森づくりに関わる団体・個人に配布し、プロもアマも連帯した流域の森づくり運動の実現を目指す。（森づくりガイドライン協働）
- 流域外の森林組合や森林事業、森づくり関係団体や個人へも「森の人をつなぐ」を配布することにより、矢作川流域圏懇談会山部会の取り組みを発信する。（森づくりガイドライン協働）

2.山部会の活動目標

《第14期後半の活動目標（R6.4～R6.11）》

<テーマ>

木づかいガイドライン

<活動目標>

- 矢作川流域内の各関係者が取り組まれている木づかい活動や推進テーマを「さあ～しよう」の形で提案していただくことにより情報を共有化し、流域内の身近な木を利用した木づかいが推進されるように「木づかいガイドライン」を作成する。
- 矢作川の流れを絆として、個人の思い入れを込めて流域が一体となることの大切さを伝えるアイテム「矢作川流域ものさし・私の流域物語」を有志で製作し、これを全国の各流域に配布することによって、全国の各流域において、その理念と製作方法を普及する。
- 「矢作川流域ものさし・私の流域物語」の理念とは、「流域はひとつ運命共同体」・「水を使うものは自ら水をつくるべし」といった全国にも通用する矢作川の流域思想であり、こうした思想と共にある矢作川流域圏懇談会の取り組みについて、全国の流域関係者に向けて送信する。
- 「私の流域物語」に記載された物語に関わる場所での「木づかいライブ スギダラキャラバン（木育キャラバン）」の実施や、個人の思い入れを尊重した木づかいによる市民創造型・労働参加型・課題解決型プロジェクトを実施する。
- こうした取り組みを通して矢作川の流域材を活用した楽しい「木のある暮らし」を定着させ「木づかいによる場所のカづくり=プレイスメイキング」によって身近な生活空間を魅力的な地域空間に変革していく。
- こうしたプレイスメイキングに際し、地域住民や地域子どもたちが一緒になって活動することにより、特に子どもたちに対して、地域資源と共に生きていく様々な原体験の場を提供していく。
- 神奈川県山北町において開催された「大人の木育」の講師を務めた流域連携から、現在南都留森林組合との連携事業がスタートした。今後、道志村のキャンプ施設を対象とした森林づくりワーク及び木のアイテムによるプレイスメイキングを進めていく。
- 学童保育、森の幼稚園、里山等で森づくりワークを進めていくにあたり、それらの活動拠点施設及びトイレが必要である。愛知県の学童施設に愛知県産材のスギ材が「板倉構法」として使われており、こうした事例を参考に矢作川流域材を活動拠点及びトイレ等の施設に活用していく。

3. 今期後半の活動内容

＜今期後半の山部会の活動内容・目標＞

テーマ	具体的な活動内容・目標
流域圏担い手づくり事例集	<ul style="list-style-type: none"> ○ 流域圏担い手づくり事例集Ⅴを刊行する（取組中）。 ○ 事例集交流会の開催（7/6,7に鳥羽市にて事例集交流会を開催）。
山村ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> ○ 矢作川感謝祭を活用し林業関係者の交流の場としての役割などを検討する。
森づくりガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国の新たな動向を踏まえつつ、流域市町村の森林施策の着実な進行を後方支援する。 ○ 流域市村の間伐面積、皆伐面積の経年変化を整理し、要因等の情報共有を行っていく。
山村ミーティングと森づくりガイドラインの協働	<ul style="list-style-type: none"> ○ 森林組合間の交流の増加を目的として合同研修会の継続や新たなイベントの開催。 ○ 「森の人をつなぐ」を流域森林組合や森づくりに関わる団体・個人に配布する。
木づかいガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道志村のキャンプ施設を対象とした森林づくりワーク及び木のアイテムによるプレイスメイキング ○ 愛知県の学童施設に愛知県産材のスギ材が「板倉構法」として使われており、こうした事例を参考に矢作川流域材を活動拠点及びトイレ等の施設に活用する ○ 上記のような取り組みをしていくための仕組みづくりの検討。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他部会を含めた合同部会の実施。 ○ 海エリアでの合同部会の実施（7/6,7に鳥羽市にて事例集交流会を開催）。

※今期前半のWG等の意見を基に整理

4. 山部会の活動スケジュール

山部会の活動として、当面全体会議までのWG・FW 2回、まとめの会 1回を予定している。全体会議の後にWG・FW 1回を予定している。

	活動	日時	内容・場所
第14期	第69回WG・FW	5/31～6/1	WG 内容：第14期の活動計画、テーマ別の活動報告 場所：豊田市 生涯学習センター 旭交流館 FW ・「さくら村」視察 ・森づくりシンポジウム「豪雨から始まった市民の森づくり」 参加（豊田市崇化館交流館）
	第70回WG・FW	7/26～7/27	内容：未定 場所：恵那市
	第16回山部会 まとめの会・FW	9/6～9/7	内容：未定 場所：根羽村
第15期	第71回WG・FW	2/7～2/8	内容：未定 場所：岡崎市

第14期 (R5.4~R6.11) ・ 第15期 (R6.12~R7.3) スケジュール

開催する懇談会		対象	R6活動目標	第14期											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市民部会	WGまとめの会	個人 市民団体 NPO法人等		継続	5/22 市民WG-① 第15回WG(豊田市) ・今年度の市民部会の方針 ・今後のイベントの方針		7/11 市民WG-② 第16回WG(豊田市) ・公開講座の開催計画 ・バスツアーの開催案内 ・イベントでの流域懇談会のPRについて		9/8 市民WG-③ 第17回WG(豊田市) ・公開講座のために「富山理論」についての話し合い ・バスツアーの最終確認 ・農業に関するイベントの紹介				1/10 年度まとめ(市民) 第5回(第18回)WG(豊田市) ・第14期の活動実績と次回全体会議に向けた活動計画 ・公開講座に向けた状況報告、チラシの配布 ・バスツアーの報告		継続
	勉強会	懇談会メンバー全員	○流域全体に関わる課題をテーマとして設定し、公開講座を実施する。 ○地域部会(山・川・海)合同でのバスツアーを企画・開催する。 ○農業従事者や大学関係者など、新たなつながりを広げる。						9/13・14 勉強会 (流域各所) 山から海まで2日がかりの「矢作川の全て」バスツアー					2/12 勉強会 (豊田市) 公開講座 「川がなくなると私たちの未来 知らなかった山・川・里・海のつながり」 流域のつながりの再認識	
	流域連携イベント	懇談会メンバー全員							9/10 流域連携-① (豊田市) 矢作川感謝祭	9/30~10/1 流域連携-② (仙台市) いい川づくりWS	10/14 流域連携-③ (田原市) 三河湾大感謝祭		1/20~21 流域連携-④ (豊田市・岡崎市) 中部いい川づくりWS		
地域部会	WGまとめの会	懇談会メンバー全員	○次の10年を見据えながら、山部会の展開を模索するとともに、4つの活動テーマ(山村ミーティングと森づくりガイドラインは協働)を軸として、情報共有と意見交換を行う。また、他部会との連携を遠し、流域としての課題解決に貢献する。	継続	5/19 山WG-① 第66回WG(豊田市) ・今年度の山部会の目標 ・4つのテーマの活動進捗状況の共有 ・事例集交流会		7/28 山WG-② 第67回WG(根羽村) ・4つのテーマの活動進捗状況の共有 ・国際森林認証制度について		9/15 山WG-③ 第68回WG(恵那市) ・4つのテーマの活動進捗状況の共有 ・恵那市の森づくりの状況 ・安曇林業の取組み				2/2 年度まとめ(山) 第15回(岡崎市) ・第14期の活動実績と次回全体会議に向けた活動計画 ・岡崎市の森林施策、岡崎市の森づくりに関する話題提供及び意見交換		継続
	フィールドワーク	懇談会メンバー全員	○WG活動に関する現地視察を行う。		5/20 フィールドワーク-① (豊田市) 豊田市の森林や農業に関する現地視察(豊田市旭地区の町おこし、観光に関する見学)		7/29 フィールドワーク-② (根羽村) 根羽村の森林や農業に関する現地視察(国際森林認証経度の審査対象となった森林)		9/16 フィールドワーク-③ (恵那市) 恵那市の森林や農業に関する現地視察(上矢作養蜂場にて、移住と地域おこしについて見学)				2/3 フィールドワーク-④ (岡崎市) フォレストアーツ合同会社小森氏をお招きし、日本版フォレストアーツの活動について講演、懇談会メンバーとの意見交換		
	川部会	WGまとめの会	懇談会メンバー全員	○流域治水を軸に山・川・まちをつなぐ河川としての役割を認識し、他部会や外部団体を巻き込みつつ、行政や市民団体などが参加したくなるような部会を創造する。	継続		6/20 川WG-① 第62回WG(豊田市) ・矢作川流域治水プロジェクトの進捗状況共有 ・ヨシ植え体験会・バスツアー・中部のいい川WSに関する情報共有 ・今後の川部会の活動計画に関する意見交換		8/22 川WG-② 第63回WG(豊田市) ・今後の川部会の活動計画 ・話題提供				1/22 年度まとめ(川) 第15回(岡崎市) ・中間報告会を踏まえた川部会の活動計画の整理 ・話題提供		継続
海部会	WGまとめの会	懇談会メンバー全員	○「豊かな海」や「海と人との絆」の再生に向けた様々な取り組みについて情報共有・意見交換を行うとともに、流域圏全体に関わるごみ問題や土砂の問題についても、今後外部に発信していくことを念頭に、他部会や外部団体との連携をはかる。	継続		6/5 海WG-① 第52回WG(豊橋市) ・今後の海部会の活動計画の共有 ・豊川河口におけるヨシ原・干潟再生箇所の見学および意見交換 ・ダム堆砂分級工法に関する技術紹介						12/12 海WG-② 第53回WG(西尾市) ・矢作ダムで実施されている土砂分級実験見学会の意見交換 ・流域圏担い手づくり事例集についての意見交換会		1/17 年度まとめ(海) 第15回(西尾市) ・第14期の活動実績と次回全体会議に向けた活動計画	
部会連携調整 (通称:ミライ会議)	有志 (主に10年誌編集委員)			4/12 部会連携調整-① 第12回部会連携調整(名古屋市) ・流域圏担い手づくり事例集の発行に向けた読み合わせ ・今年度の公開講座、バスツアーの検討 ・流域連携イベント等の進捗の共有	6/27 部会連携調整-② 第13回部会連携調整(名古屋市) ・公開講座開催計画 ・バスツアーの計画 ・流域圏担い手づくり事例集 ・根羽村合宿について		8/29 部会連携調整-③ 第14回部会連携調整(名古屋市) ・公開講座 ・流域圏担い手づくり事例集 ・流域連携イベント	9/27 部会連携調整-④ 第15回部会連携調整(名古屋市) ・公開講座開催に向けて ・その他今後の懇談会に関する意見交換				11/29 部会連携調整-⑤ 第16回部会連携調整(名古屋市) ・公開講座開催に向けて ・その他今後の懇談会に関する意見交換	12/27 部会連携調整-⑥ 第17回部会連携調整(名古屋市) ・事例集の作成に向けて ・公開講座開催に向けて ・その他今後の懇談会に関する意見交換	2/1 部会連携調整-⑦ 第18回部会連携調整(名古屋市) ・事例集の作成に向けて ・公開講座開催に向けて ・その他今後の懇談会に関する意見交換	3/13 部会連携調整-⑧ 第19回部会連携調整(名古屋市) ・事例集の作成に向けて ・公開講座の報告 ・その他今後の懇談会に関する意見交換
全体会議 中間報告会	全体会議座長 中間報告会座長 懇談会メンバー全員	○これまでの検討成果と今後の方針を最終調整し、来期の方向性を決定する。 ○河川整備計画に対するフォローアップ項目を検討し、引き続き実施する。			5/8、5/23 (WEB) 座長ヒアリング ・全体会議座長 ・地域部会座長				中間報告会事前レク 11/7 (WEB) 中間報告会の資料確認、スケジュールの調整			中間報告会 11/13 (岡崎) 市民部会、地域部会の進捗報告、懇談会の実績と目標の確認			

第14期 (R5.4~R6.11) ・ 第15期 (R6.12~R7.3) スケジュール

開催する懇談会	対象	R6活動目標	第14期								第15期				
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
市民部会	WGまとめの会	個人 市民団体 NPO法人等		5/20 市民WG-① 第18回WG (豊田市) ・ 歴長交代案内 ・ 第15期の活動計画		未定 市民WG-② 第19回WG (未定)					未定 まとめの会 (市民) (未定)				
	勉強会	懇談会メンバー全員	○流域全体に関わる課題をテーマとして設定し、公開講座を実施する。 ○地域部会 (山・川・海) 合同でのバスツアーを企画・開催する。 ○農業従事者や大学関係者など、新たなつながりを広げる。					未定 勉強会 (流域各所)							
	流域連携イベント	懇談会メンバー全員							未定 流域連携-① (未定) 矢作川感謝祭 未定 流域連携-② (未定) いい川づくりWS	10/6 流域連携-③ (蒲都市 西浦) 三河湾大感謝祭					
地域部会	山部会	WG まとめの会	○次の10年を見据えながら、山部会の展開を模索するとともに、4つの活動テーマ (山村ミーティングと森づくりガイドラインは協働) を軸として、情報共有と意見交換を行う。また、他部会との連携を遠し、流域としての課題解決に貢献する。	5/31 山WG・FW-① 第69回 (豊田市) ・ 第15期の活動計画 ・ 各テーマ別の活動報告 ・ 今後の予定		7/26 山WG-② 第70回 (恵那市)			9/6 まとめの会 (山) 第16回 (根羽村)					2/6 山WG-③ 第71回 (岡崎市)	
		フィールドワーク	○WG活動に関する現地視察を行う。	6/1 フィールドワーク-① (豊田市) ・ さくら村ツリーハウス ・ 森づくりシンポジウム		7/27 フィールドワーク-② (恵那市)			9/7 フィールドワーク-③ (根羽村)					2/7 フィールドワーク-④ (岡崎市)	
	川部会	WG まとめの会	○流域治水を軸に山・川・まちをつなぐ河川としての役割を認識し、他部会や外部団体を巻き込みつつ、行政や市民団体などが参加しやすくなるような部会を創造する。		6/27 川WG・FW-① 第64回WG・FW ・ 第15期の活動計画 ・ 古川水辺公園、越戸ダム見学			未定 川WG・FW-② 第65回WG・FW			未定 まとめの会 (川) (未定)				
	海部会	WG まとめの会	○「豊かな海」や「海と人との絆」の再生に向けた様々な取り組みについて情報共有・意見交換を行うとともに、流域圏全体に関わるごみ問題や土砂の問題についても、今後外部に発信していくことを念頭において、他部会や外部団体との連携をはかる。	継続		7/6、7/7 海WG-① 第54回WG (未定) 流域圏担い手事例集 (海編) 交流会		未定 海WG-② 第55回WG (未定)			未定 まとめの会 (海) (未定)				
部会連携調整 (通称：ミライ会議)	有志 (主に10年誌編集委員)		4/24 部会連携調整-① 第20回部会連携会 ・ 多摩川・矢作川の交流 キックオフ、意見交換 ・ 伊勢湾・三河湾海の 「事例集」の最終調整 ・ 事例集交流会について			未定 部会連携調整-② 第21回部会連携会 (未定)				11月 部会連携調整-③ 第22回部会連携会 (未定) 多摩川懇談会 合同セミナー					
全体会議 中間報告会	全体会議座長 中間報告会座長 懇談会メンバー全員	○これまでの検討成果と今後の方針を最終調整し、来期の方向性を決定する。 ○河川整備計画に対するフォローアップ項目を検討し、引き続き実施する。	4/24 (海) ・ 地域部会座長	5/1 (山、市民) 5/7 (川) 5/27 (全体) ・ 全体会議座長 ・ 地域部会座長						全体会議事前レク 未定 (未定)	第13回全体会議 11月を想定 (未定)				

現在